

こちよい打音・打感のゴルフクラブに関する研究

「測定・分析技術」

共同研究

□目的

ゴルフクラブの材質・構造が振動・音響特性を介し使用者の感性に与えるメカニズムを解明し、こちよい打音・打感のクラブを開発する技術を蓄積。

□研究内容

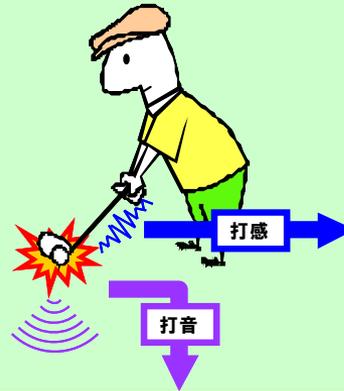
- 1 ゴルフクラブの材質・構造と、振動・音響特性に関する実験と分析
- 2 クラブの特性と、使用者の生体情報に関する実験と分析
- 3 使用者の主観と上記物性値の関係を基にした、打音・打感のこちよさ評価システム構築

□研究成果

- 1 打音の時間一周波数特性を基に打音のこちよさ評価手法を確立。
- 2 打撃時においてシャフトから手へ伝達した振動から、打感がどのような特性に起因するかを把握。

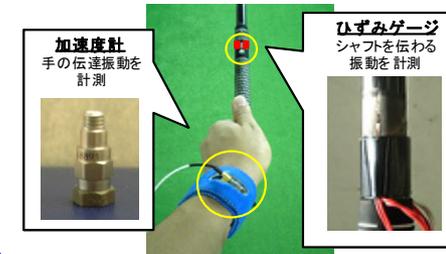
□成果の展開性

H19政策型受託研究「こちよい打音・打感を有するゴルフクラブ開発に関する研究」。

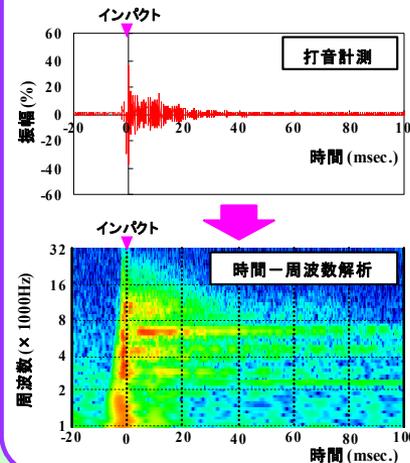


《打感評価手法の確立》

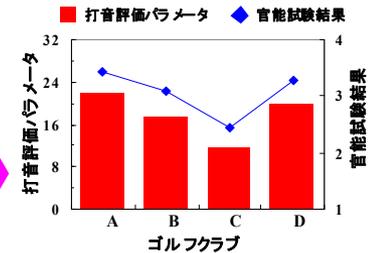
打撃時におけるクラブシャフト→手への伝達振動を基に、使用者の打感評価がどのような振動特性に起因するかを把握



《打音評価手法の確立》



打音のこちよさ評価



打音の時間一周波数特性を基に、打音のこちよさ評価手法を確立
本手法で算出した打音評価パラメータは官能試験結果とよく対応

打音のこちよさの数値化が可能